



6月は環境月間です

No.5

平成26年5月23日
発行 京都府立図書館

国際連合は、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、毎年6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本でも「環境基本法」(平成5年施行)で「環境の日」と定めています。京都では1997年12月「地球温暖化防止京都会議」(COP3)が開かれ「京都議定書」を議決しました。当館では、環境に関する資料を重点的に収集しています。



京都府が京都市等と共同で実施している「KYOTO 地球環境の殿堂」殿堂入り者の著作を紹介します。

「KYOTO 地球環境の殿堂」とは

「京都議定書」誕生の地である京都の名のもと、世界で地球環境の保全に多大な貢献をした方の功績を永く後世にわたって称えるものです。

京都から世界に向けて広く発信することにより、地球環境問題の解決に向けたあらゆる国、地域、人々の意志の共有と取組に資することを目的として、気候変動枠組条約第3回締結国会議(COP3)が開催された、国立京都国際会館にその功績を展示します。

[詳しくは京都府ホームページをご覧ください。 <http://www.pref.kyoto.jp/tikyuu/1288317993199.html>]

第5回殿堂入り者

宮脇 昭 氏

土地に在来種の樹木を密集させて植え込み、植物の持つ競争力を活かしながら緑を増やす植樹方法「宮脇方式」を提唱。

タイトル	請求記号	資料コード
『森の力 植物生態学者の理論と実践』 宮脇 昭／著 講談社 2013	S/653.4/Mi87	1110138151
『4千万本の木を植えた男が残す言葉』 宮脇 昭／著 河出書房新社 2010	653.4/Mi87	1108641810
『森はあなたが愛する人を守る』 宮脇 昭・池田 明子／著 講談社 2009	650.4/Mi87	1110230065
『木を植えよ!』 宮脇 昭／著 新潮社 2006	653.4/Mi87	1110230073
『いのちを守るドングリの森』 宮脇 昭／著 集英社 2005	S/653.4/Mi87	1108079805
『緑環境と植生学 鎮守の森を地球の森に』 宮脇 昭／著 NTT 出版 1997	471.7/Mi87	1107164970
『日本の植生』 宮脇 昭／編 学研教育出版 1977	472.1/N71	1110157904
『日本植生誌』(1~10,総索引) 宮脇 昭／編著 至文堂 1980-1996	472.1/Mi87	1103460356 他

第4回殿堂入り者

ヴァンダナ・シヴァ氏

環境や農業・食糧問題に関する近代の西洋中心的な考え方に警鐘を鳴らし、伝統的スタイルに根ざした価値観や社会構成の重要性など、環境と共生する思想の普及に貢献。

『食とたねの未来をつむぐ わたしたちのマニフェスト』 ヴァンダナ・シヴァ／編著 小形 恵／訳 大月書店 2010	498.5/Sh96	1108642909
『食糧テロリズム 多国籍企業はいかにして第三世界を飢えさせているか』 ヴァンダナ・シヴァ／著 浦本 昌紀／監訳 明石書店 2006	611.38/Sh92	1108514512
『生物多様性の保護か、生命の収奪か グローバリズムと知的財産権』 ヴァンダナ・シヴァ／著 奥田 暁子／訳 明石書店 2005	579.9/Sh92	1108096353
『生物多様性の危機 精神のモノカルチャー』 ヴァンダナ・シヴァ／著 戸田 清／訳 明石書店 2003	519.8/Sh92	1108158880
『ウォーター・ウォーズ 水の私有化、汚染そして利益をめぐる』 ヴァンダナ・シヴァ／著 神尾 賢二／訳 緑風出版 2003	517/Sh92	1108020197

エイモリー・B・ロビンズ氏

エネルギー利用の効率化や化石資源から再生可能エネルギーへの転換に関する画期的な学術研究で世界に貢献。

『新しい火の創造 エネルギーの不安から世界を解放するビジネスの力』 エイモリー・B.ロビンズ, ロッキーマウンテン研究所／著 ダイヤモンド社 2012	501.6/L94	1110069919
『スモール・イズ・プロフィタブル 分散型エネルギーが生む新しい利益』 エイモリー・B.ロビンズ ほか／著 山藤 泰／訳 省エネルギーセンター 2005	540.9/Su68	1110154687
『自然資本の経済 「成長の限界」を突破する新産業革命』 ポール・ホーケン, エイモリー・B.ロビンズ／著 日本経済新聞社 2001	330/H45	1106941824

第3回殿堂入り者

クラウス・テプファー氏

長年にわたってドイツの環境保全行政を担当し、欧州全体の環境保全に貢献。「地球サミット」など運営を主導し、国際的な地球環境問題の解決に尽力。

『尊厳とは何か グローバル化と人類の共生』ドイツ福音主義教会大会／編 小杉 尅次／訳 新教出版社 2009 【「人間の尊厳とは何か」クラウス・テプファー／著】	316.1/D83	1110157847
--	-----------	------------

レスター・R・ブラウン氏

地球温暖化、水や食料の不足、人口増大などの地球環境問題に警鐘を鳴らし続け、環境の面から持続可能な経済である「エコ・エコノミー」の概念を提唱。

『地球に残された時間 80億人を希望に導く最終処方箋』レスター・R・ブラウン／著 枝廣 淳子／訳 ダイヤモンド社 2012	519.04/B77	1108783729
『食糧破局 回避のための緊急シナリオ』レスター・R・ブラウン／著 今村 奈良臣／訳・解説 ダイヤモンド社 1996	611.3/B77	1100174067
『地球白書 ワールドウォッチ』レスター・R・ブラウン／編著 ダイヤモンド社	519/B77	1105888869 他
『こども地球白書』レスター・R・ブラウン／編著 朔北社	519.05/B77	1106003039 他

第2回殿堂入り者

エリノア・オストロム氏

コモンズ(共有資源)の集団管理の理論が地球環境問題の解決に向けて大きな指針となることを示した。

『コモンズのドラマ 持続可能な資源管理論の15年』全米研究評議会／編 茂木 愛一郎／監訳 知泉書館 2012 【「コモンズのドラマ」エリノア・オストロム ほか／著】	334.7/N57	1110167242
--	-----------	------------

シグミ・シンゲ・ワンチュク陛下

地球環境問題の解決につながる「Gross National Happiness (国民総幸福量)」という概念を提唱。

『幸せの国ブータン 智恵と言葉』木村 順子／著 シグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク／述 朝日出版社 2012	292.588/Ki39	1110154851
『ワンチュク国王から教わったこと』ペマ・ギャルポ／著 PHP 研究所 2012	289.2/J48	1110014097

原田 正純氏

世界各地の公害問題を「水俣学」という地球環境問題の解決に資する画期的な学問体系に高めた。

『この道を一水俣から 原田正純追悼集』原田 正純／著 熊本学園大学水俣学研究センター／編著 熊本日日新聞社 2012	289.1/H32	1110157805
『宝子たち 胎児性水俣病に学んだ50年』原田 正純／著 弦書房 2009	493.15/H32	1110154067
『水俣学講義』〔第1集～第5集〕原田 正純／編著 日本評論社 2004-2012	493.15/H32	1108240050 他

第1回殿堂入り者

グロ・ハルレム・ブルントラント氏

地球環境保全の取組の道しるべとなる「持続可能な開発」の概念を提唱。

『世界で仕事をすること』グロ・ブルントラント／著 竹田ヨハネセン裕子／訳 PHP 研究所 2004	289.3/B78	1108263417
---	-----------	------------

真鍋 淑郎氏

世界初の気候・海洋・陸面過程結合モデルを開発し、地球気候変動の研究に適用。地球温暖化予測の先駆者。

『地球との和解 人類と地球にはどんな未来があるのか』ジェローム・バンデ／編 服部 英二／監訳 麗澤大学出版会 2009 【「水資源利用可能性に対する気候変動の影響はどのようなものか」真鍋 淑郎／著】	519.04/C44	1108879626
『地球温暖化は阻止できるか 京都会議検証』さがら 邦夫／編 藤原書店 1998 【「シミュレーションが予測する全地球の気候異変」真鍋 淑郎／著】	451.85/Sa16	1106190216

ワンガリ・マータイ氏

「MOTTAIINAI」の言葉を世界に普及させるとともに、環境と共生する思想の普及や環境保全活動を実践。

『へこたれない ワンガリ・マータイ自伝』ワンガリ・マータイ／著 小池 百合子／訳 小学館 2007	289.3/Ma11	1108520519
『モッタイナイで地球は緑になる』ワンガリ・マータイ／著 福岡 伸一／訳 木楽舎 2005	653.4/Ma11	1108085315